

〈第14回〉 託麻原小9町内子ども会 「冬のお楽しみ会 レクレーション」 育成会会長

(写真は有りません)

令和2年12月6日(日)午前9時半～11時半まで 小学校体育館にて「冬のお楽しみ会 レクレーション」を開催しました。

今年はコロナの影響で様々な活動が中止になる中、託麻原小学校9町内子ども会も夏のお楽しみ会が中止になりましたが、冬は子どもたちに何か楽しい思い出を作ってもらいたいと思い実施することにしました。

そこで、コロナの感染リスクを下げるために、予定していたボーリングから変更して学校の体育館をお借りして、体を動かすレクレーションにして実施しました。

【コロナ対策】○入り口でアルコール消毒 ○体育館の窓やドアは開けて置く
○マスク着用の徹底

【参加者】○子ども30人 ○未就学児10人 ○大人18人

【ゲーム】高学年から低学年、その兄弟の未就学児も楽しめるように、ゲーム内容、運営方法などを工夫して2時間楽しみました。

1 しっぽ取りゲーム(全員で)×2回

2 傘を使った玉入れ(3チームに分かれて2分間でたくさん入れたチームの勝ち)×3回

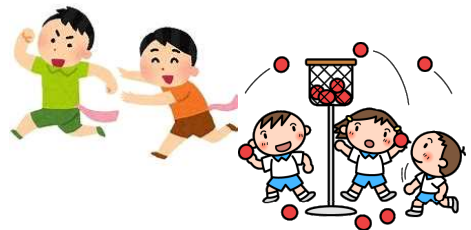
○小学生は3メートルの円の外から投げ、未就学児はその内側から投げるようにしました。

○玉作りは育成会の班長で作りましたが、子どもたちに手伝ってもらい、玉の半分はクリスマス風にキラキラのテープを貼りかわいくしました。

○勝ったチームにはスーパーボールのくじを引いてもらい、負けたチームも箱の中にある小さなお菓子を引いてもらいました。

3 ドッジビー 8分×2ゲーム(小学生)

○未就学児とその保護者はその間にペットボトルボーリングをしました。ペットボトルもかわいくデコレーションしました。



ゲームが終わったあと最後に子ども会からクリスマスのプレゼントを改めて配りました。

各班長、新聞紙の球を一人80個作ったり、空のペットボトルをたくさん用意したりと少し手はかかり、当日玉入れの傘持ちの保護者が球を当てられたりとちょっとしたハプニング?も有りましたが、子どもたちの笑顔がたくさん見られたのが何よりのご褒美でした。再びコロナが増えている時期と重なったので大丈夫か少し心配もありましたが、実施できてよかったです。



最後に、玉入れの3メートルの円をビニールテープで床に貼っていたのでそれをはがしたり、ペットボトルに入れた水を出したり、ごみを残さないようにチェックしたり多少の後片づけはありましたが、時間通りに大きなトラブルもなく終了できました。ご協力頂いた役員の皆様、会員の皆様大変有り難うございました。

事務局から

事務局長 白石和典

- 1 お忙しい中に原稿を送っていただき有り難うございました。
コロナ禍で様々な活動が中止になり、特に夏のお楽しみ会も中止になって皆がっかりしていたことだと思います。そんな中、子どもたちに何か楽しい思い出を作ってもらいたいという育成会の方々の思いがこの様な形になったのだと思います。
- 2 ボーリングからコロナ対策がとりやすい体育館でのゲームに変えられたことも良かったと思います。アルコール消毒、体育館の換気、マスク着用とコロナ感染防止に配慮された取り組みでした。
- 3 ゲーム内容も、小学生から未就学児と皆が楽しめる内容であり、運営も子どもたちに合わせた工夫がしてあり素晴らしい活動でした。
玉作りその他準備も大変だったと思いますが、役員の方々の協力も素晴らしいと思います。各班長さんが一人100個作る過程で子どもたちとの会話もあったことでしょう。楽しい親子の会話の様子が思い浮かびます。また、玉やペットボトルにデコレーションが施され、クリスマスの雰囲気を味わい子どもたちも喜んだことでしょう。
- 4 皆様お疲れ様でした。託麻原小9町内子ども会の益々の発展と子どもたちの健やかな成長をお祈り致します。

